

変法ランフォード培地

変法ランフォード培地は、Roberte E. Lanford らが開発した Lanford medium¹⁾を改良し、Williams' E medium²⁾ に成長因子や各種ホルモンを添加し更に抗生物質を添加し一体化した完全調製済みの液体培地です。

[特 長]

- 1) ヒト肝細胞を長期培養できる無血清培地です。
- 2) 組成が明確なので安心してご利用いただけます。
- 3) 融解するだけで簡単にご使用いただけます。
- 4) -80℃の凍結保存で2年間の長期保存が可能です。

[包 装]

変法ランフォード培地 : 100 mL × 1本 (凍結品)

[成分組成]

成分名	100 mL 中の含有量	成分名	100 mL 中の含有量
ウイリアムスE培地 (L-グルタミン不含) ……	1,050 mg	セレン ……………	0.0017172 mg
* 炭酸水素ナトリウム ……………	220 mg	LCGF ……………	0.002 mg
ペニシリン ……………	10,000 U	トランスフェリン ……………	0.5 mg
ストレプトマイシン ……………	10,000 μg 力価	エタノールアミン ……………	0.006 μL
L-グルタミン ……………	29.2 mg	プロラクチン ……………	500 ng
リノール酸/BSA ……………	0.5 mg リノール酸/50 mg BSA	インスリン ……………	1.0 mg
EGF ……………	5 μg	グルカゴン ……………	0.2 mg
ハイドロコチゾン ……………	0.03626 mg	アムホテリシンB ……………	75 μg 力価

[使用法]

本品は凍結状態で配送しますので、使用に際しましては、まず冷蔵庫内または室温で解凍してください。

[製品コード]

05957

[貯法・使用期限]

-80℃保存。凍結状態で製造後2年間。(ラベルに表示してあります)

融解した培地は冷暗所(2~10℃)で、炭酸ガスの飛散を防止してpHが極度のアルカリ性にならないように保存して、2週間以内に使用してください。(再凍結は避ける)

[主要文献]

- 1) Roberte E. Lanford, Kenneth D. Carey, Larry E. Estlack, G. Con Smith, and Rick V. Hay : Analysis of Plasma protein and lipoprotein synthesis in long-term primary culture of baboon hepatocytes maintained in serum-free medium. In Vitro Cellular & Developmental Biology, Volume 25, Number 2, February 1989.
- 2) G.M. Williams and J.M. Gunn : Long-term cell culture of adult rat liver epithelial cells, Experimental cell Research, 89, 139-142, 1974.
- 3) 大野泰雄: インフォームドコンセントに基づいた外科手術切除ヒト組織の医学研究利用ネットワーク体制の確立とヒト肝細胞を用いた試験系のバリデーション、第七分野、課題番号 KH71067 分担研究者研究報告書

[使用上または取扱い上の注意]

- 1) 本品は凍結状態で配送されますので、受け取り後は直ちに-80℃に保管してください。
- 2) 本製品は研究用に開発された試薬です。医療用・臨床診断用などとしてヒトまたは動物へ適用することはできません。
- 3) 本製品には抗生剤が添加されていますので、別に抗生剤を添加する必要はありません。
- 4) 本添付文書に記載されている使用法、使用上の注意を厳守して使用してください。
- 5) 使用期限が過ぎた製品は、品質を保証できませんので使用しないでください。
- 6) 容器が破損しているもの、培地に異物が混入しているものは使用しないでください。
- 7) 使用後の培地、試薬、器具などはオートクレーブ等で滅菌処理した後、廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物または産業廃棄物などに区別して処理してください。
- 8) 本製品の使用によって生じた事故あるいは損害について、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

** 製造販売元

島津ダイアグノスティクス株式会社

東京都台東区上野 3-24-6 〒110-0005 TEL 03(5846)5611 (代)